

| | | | | | |
|--------|--|-----|-----|---------|-----------|
| 教科(科目) | 地理歴史(地理B) | 単位数 | 3単位 | 学年(コース) | 3年(環境コース) |
| 使用教科書 | 新詳地理B(帝国書院)、新詳高等地図(帝国書院) | | | | |
| 副教材等 | 新編地理資料(とうほう) データブックオブザワールド(二宮書店) ウィニングコンパス地理の整理と演習(とうほう) | | | | |

1 学習目標

| |
|---|
| <p>①日本の地形や気候と自然災害の特徴に関する地理的事象から開発のあり方などの課題を設定し、追求するとともに、あるべき姿についての視点や方法を考察する。</p> <p>②気候と生活のかかわりに関する地理的事象から課題を設定し、追求するとともに、系統地理的にとらえる視点や方法を考察する。</p> <p>③衣食住の差異と社会のかかわりに関する地理的事象から課題を設定し、追求するとともに、系統地理的にとらえる視点や方法を考察する。</p> <p>④さまざまな環境・エネルギー問題に関する地理的事象から具体的な地域の課題を設定し、追求するとともに、その解決には地域性を踏まえた国際協力が必要であることを考察する。</p> |
|---|

2 指導の重点

| |
|---|
| <p>①「自然環境」「人々の暮らし」「人口」「産業・資源」「地域間の結びつき」について国内的視野、世界的視野を見据え、あらゆる社会的問題に立ち向かい、積極的に解決していこうとする姿勢をつくる。(関心・意欲・姿勢)</p> <p>②統計数値、土地利用図、景観写真などの情報から地域の特色を読みとることができる。(資料活用・表現)</p> <p>③原因と結果の関係や目的、方法、構造、相互関係を地域の具体的事象を通して説明することができる。(知識・理解)</p> |
|---|

3 指導計画

| 月 | 単元 | 教材 | 学習活動(指導内容) | 時間 | 評価方法 |
|----------|---|------------------------|--|----|-------------------------------------|
| 4月 | <p>第Ⅲ部 現代世界の地域的考察</p> <p>1章 現代世界の地域区分</p> <p>2章 現代世界の諸地域</p> <p>1節 地誌の考察方法</p> <p>2節 東アジア</p> | 教科書、地図帳、副教材 | <ul style="list-style-type: none"> ・自然や政治・経済、文化などの指標によって地域区分できることを学び、地域の変容や構造について歴史的背景を踏まえて、多面的に考察する手法を習得させる。 ・GDPなど具体的な指標に基づいて地域を区分し、小地域から大地域への地域区分の手法を習得することによりスケールの違いによるとらえ方の差異について考察させる。 ・特徴ある事象と他の事象とを有機的に関連づけて考察させ、各地域に地域的特色を見出す手法について習得させる。 ・東アジアを例として、自然環境、文化、産業、日本との結びつきなど多様な項目について考察させる。 | 12 | <p>作図作業</p> <p>課題提出</p> <p>小テスト</p> |
| 5月 | 3節 東南アジア | 教科書、地図帳、副教材 | <ul style="list-style-type: none"> ・東南アジアを例として、自然環境、文化、産業、日本との結びつきなど多様な項目について考察させる。 ・各地域的特色を見いだすとともに比較・対照する手法について考察させる。 ・さらに考察方法の妥当性について吟味する力を身につけさせる。 | 6 | <p>作図作業</p> <p>課題提出</p> <p>小テスト</p> |
| 前期第1中間考査 | | | | 1 | |
| 5月 | 4節 南アジア | 教科書、地図帳、副教材 | <ul style="list-style-type: none"> ・南アジアを例として、自然環境、文化、産業、日本との結びつきなど多様な項目について考察させる。 ・各地域的特色を見いだすとともに比較・対照する手法について考察させる。 ・さらに考察方法の妥当性について吟味する力を身につけさせる。 | 7 | <p>作図作業</p> <p>課題提出</p> <p>小テスト</p> |
| 6月 | 5節 西アジアと中央アジア | 教科書 地図帳 副教材 | <ul style="list-style-type: none"> ・西アジア、中央アジアを例として、自然環境、文化、産業、日本との結びつきなど多様な項目について考察させる。 ・各地域的特色を見出すとともに比較・対照する手法について考察させる。 ・さらに考察方法の妥当性について吟味する力を身につけさせる。 | 13 | <p>作図作業</p> <p>課題提出</p> <p>小テスト</p> |
| 前期第2中間考査 | | | | 1 | |
| 7月 | 6節 北アフリカとサハラ以南のアフリカ | 教科書 地図帳 副教材 | <ul style="list-style-type: none"> ・北アフリカとサハラ以南のアフリカを例として、自然環境、文化、産業、日本との結びつきなど多様な項目について考察させる。 ・各地域的特色を見いだすとともに比較・対照する手法について考察させる。 ・さらに考察方法の妥当性について吟味する力を身につけさせる。 | 12 | <p>作図作業</p> <p>課題提出</p> <p>小テスト</p> |
| 8月 | 課題研究 | 教科書 地図帳 資料集 新聞 インターネット | <ul style="list-style-type: none"> ・地元地域について、自分が興味をもった文化やその特色を地形や気候を踏まえながら、写真と説明文にまとめさせる。 | | 課題レポート |
| 9月 | 7節 ヨーロッパ | 教科書 地図帳 副教材 | <ul style="list-style-type: none"> ・ヨーロッパを例として、自然環境、文化、産業、日本との結びつきなど多様な項目について考察させる。 ・各地域的特色を見いだすとともに比較・対照する手法について考察させる。 ・さらに考察方法の妥当性について吟味する力を身につけさせる。 | 13 | <p>作図作業</p> <p>課題提出</p> <p>小テスト</p> |
| 前期期末考査 | | | | 1 | |

| 月 | 単元 | 教材 | 学習活動(指導内容) | 時間 | 評価方法 |
|--------|-------------|----------------|---|----|----------------------|
| 10月 | 8節 ロシア | 教科書 副教材 地図帳 | ・ロシアを例として、自然環境、文化、産業、日本との結びつきなど多様な項目について考察させる。 ・各地域の特徴を見いだすとともに比較・対照する手法について考察させる。 ・さらに考察方法の妥当性について吟味する力を身につけさせる。 | 13 | 作図作業 課題提出 小テスト |
| 11月 | 9節 アングロアメリカ | 教科書 副教材 地図帳 | ・アングロアメリカを例として、自然環境、文化、産業、日本との結びつきなど多様な項目について考察させる。 ・各地域の特徴を見いだすとともに比較・対照する手法について考察させる。 ・さらに考察方法の妥当性について吟味する力を身につけさせる。 | 11 | 作図作業 課題提出 小テスト |
| 後期中間考査 | | | | 1 | |
| 12月 | 10節 ラテンアメリカ | 教科書 副教材 地図帳 | ・ラテンアメリカを例として、自然環境、文化、産業、日本との結びつきなど多様な項目について考察させる。 ・各地域の特徴を見いだすとともに比較・対照する手法について考察させる。 ・さらに考察方法の妥当性について吟味する力を身につけさせる。 | 12 | 作図作業 課題提出 小テスト |
| 1月 | 11節 オセアニア | 教科書 副教材 地図帳 | ・オセアニアアメリカを例として、自然環境、文化、産業、日本との結びつきなど多様な項目について考察させる。 ・各地域の特徴を見いだすとともに比較・対照する手法について考察させる。 ・さらに考察方法の妥当性について吟味する力を身につけさせる。 | 10 | 作図作業 課題提出 小テスト |
| 学年末考査 | | | | 1 | |

114

4 課題・提出物等

小テスト、課題レポート、定期考査及び発表内容をもとに評価する。

5 評価規準と評価方法

(1単位時間は47分間)

評価は次の4観点から行います。

| 関心・意欲・態度 | 思考・判断・表現 | 資料活用の技能 | 知識・理解 |
|--|---|---|---|
| 現代世界の地理的事象に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追求するとともに、国際社会に主体的に生きる日本人としての姿勢をうちだそうとしている。 | 現代世界の地理的事象から課題を見いだし、それを系統地理的、地誌的にまた、日本人として考察するとともに世界の変化を踏まえながら、自らの意見、考えを表現することができる。 | 地図や統計、画像など地域に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択、活用することを通して現代世界の地理的事象を追求、探求しながら課題を主体的に解決することができる。 | 現代世界の地理的事象についての基本的な事柄や追求の方法を理解し、その知識を身につけている。 |

6 担当者からの一言

地理的事象を空間認識として捉え、自然の偉大さ、国土の大切さを理解し、日本人としての生き方、こころのあり方を学習・探求します。